

## PICK UP 授業

生物工学科では、講義による知識の修得と並行して自ら手を動かす実験を通じた教育を重視しています。1年次から3年次まで最低毎週1日、午後の時間を実験にあてています。



### 生物学実験Ⅰ

生物学実験Ⅰは、2年次の前期午後、週の2日間を通して行われる実験です。1年次に身に付けた自然科学の一般的な実験スキルを基本として、生化学、分子生物学、有機化学分野のより専門的な実験スキルを身に付けながら、生理活性物質を取り扱います。具体的には、バクテリアと植物から生体高分子や低分子を取り出し精製して、バイオアッセイにより評価する技術を学びます。生命を遺伝子、細胞、個体のレベルで身近に感じる最初の機会となるはずです。



### 生物学実験Ⅳ

生物学実験Ⅳは3年次後期に行われる必須科目の学生実験です。2年間、学生実験で学んできた実験操作や知識を元に、生物学の分野の応用実験として実施しています。微生物学実験では微生物の生産する酵素や抗生物質に関する実験、食品科学・衛生学実験ではデンプン糖の製造、食品中の塩分測定、食品中のカロテノイド分析などを行っています。これらの実験で学んだことを基に卒業研究を行っていくことになります。



#### Teacher's Voice

◀生物工学科  
善野 修平 教授

21世紀は「バイオの時代」といわれています。ヒトゲノムの解読やiPS細胞の樹立など、夢を実現するバイオ情報・技術の関係者は、時代の申し子として大きな責任を担います。実験で学んだ知識・スキルをベースにして、生物現象を化学言語で語る科学技術者に、是非ともなって頂きたいと思っています。



#### Teacher's Voice

◀生物工学科  
林 秀謙 准教授

生物学実験Ⅳでは、生物学分野の応用実験を行っています。微生物および食品分野の実験技術や知識を高めていくことを目標としています。また、製薬会社と食品会社の工場見学を行い、どのように製品が作られているかを現場の見学をすることで学んでいきます。

## 将来について

### 取得可能な資格

- 食品衛生管理者の任用資格(国家資格)
- 食品衛生監視員の任用資格(国家資格)
- 甲種危険物取扱者受験資格
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

### 卒業後の主な進路

- 本学または他大学の大学院進学
- 食品関連企業
- 医薬品関連企業 ● 環境関連企業
- 植物育種関連企業
- 分析業務関連企業 ● 教育関連分野 ほか